

市長室：対話の記録

要旨

開催内容の公開

- ・市長あいさつ
- ・内容
- ・市長終わりのあいさつ

第 21 回目となる今回は、市内153クラブある老人クラブの運営協議、各クラブの親睦融和を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することを目的として活動している旭川市老人クラブ連合会役員の方々と日頃の活動状況やまちづくりについて対話、意見交換を行ないました。



日時	平成 19 年 12 月 19 日(水) 午後 1 時 00 分～午後 2 時 30 分
場所	旭川市職員会館 2階 2・3号室(旭川市9条通9丁目)
相手団体	旭川市老人クラブ連合会役員 19 名
出席者	旭川市長 西川将人 旭川市老人クラブ連合会役員 19 名(敬称略) 会 長 柿島初次郎 副会長 鎌倉謙一 副会長 相澤正勝 副会長 番浦房枝 理 事 伊藤かほる 理 事 松川貞雄 理 事 大矢真治 理 事 小池臣一 理 事 長津忠雄 理 事 近藤正一 理 事 富居初雄 理 事 新田義見 理 事 西山詮了 理 事 長野文夫 理 事 高江昭 理 事 松井隆男 理 事 砂金義雄 理 事 龍後輝代 監 事 須藤清

対話の内容

以下、参加者の皆様については、敬称を省略させていただきます。

市長はじめのあいさつ

みなさんこんにちは。西川でございます。

今日は老人クラブ連合会の役員のみなさま方とこのような対話集会の機会を持たせていただきまして本当にありがとうございます。

今年は例年以上に雪が多くなっておりまして、みなさまも雪はね等に大変ご苦労されているのではないのでしょうか。今は天気も少し良くなってきていますが、もうすぐ正月になり、年が明けてからなるべく雪が降らないでほしいなと思いつつ、毎日天気予報を見ております。そのような中、今日もみなさまに足をお運びいただきまして本当にありがとうございます。

また、早い時期からみなさま方から対話集会を開催したいとお話をお伺いしておりましたが、遅くなってしまい大変申し訳ございませんでした。

私が市長に就任させていただいて、1年と少し経過させていただくことができましたが、その間、20回、各地区のみなさま方、また団体のみなさま方とこのような対話の機会を持たせていただき、また対話集会終了後はみなさま方からのご意見について庁内で検討会議を行わせていただいております。みなさんからいただいたご意見については、実際に行政の中で事業として進めさせていただいているものもございまして、中期的また若干長期的に取り組まなければいけないような部分もやはり多々ございまして、そのような中で進行管理もさせていただきながら、適宜、お応えするべくという形で取り組ませていただいております。今日もそのような形でぜひいろいろなご意見を頂戴することができればと思っております。



市長に就任した直後でありますけれども、旭川市老人クラブ連合会の新年会に出席させていただき、また先日、高齢者文化祭ですとか、作品展もされており、私も拝見させていただいたりしております。

また私の祖父が亡くなって10年くらい経つのですが、「あずま老人クラブ」の藤野さんに大変お世話になりました。私の祖父が役員をしていたのかもしれませんが、イベントの準備をしていたりですとか、また百寿大学などにも行っていましたから、そこでいろいろな作品を作って、2階の部屋の棚に祖父が作った作品が並べられてあるのを、中学校の頃によく眺めていたのを記憶しております。形見でいくつか貰ったのは、家の近くの桜の木の下に下水工事をするのに土管を入れるというので、根が半分切れてしまうので桜の木が死んでしまうということで、切った太い桜の木で作ったいろいろな作品があって、私もそれを貰って、今自分の部屋に2つほど飾ったりしております。百寿大学で作ったのかどうかは分かりませんが、そのような活動をよく見ておりまして、非常に楽しそうに活動していたのを記憶しておりますので、みなさま方もそういう形でいろいろな地域の先輩のみなさま方と一緒にいろいろな活動をしていただいているのではないかなと思っております。

また旭川市でありますけれども、人口が35万7千人のうち65歳以上の高齢者の方が8万3千人いらっしゃいます。高齢化率とよく言われておりますが23.4%という数字になっております。日本全国がそうなのですが、これから少子高齢化と言われておりますので65歳以上の方の割合は確実に旭川でも増えてくるだろうと言われております。特に団塊世代のみなさま方が今年、来年、再来年と退職をされていかれますよね。その方々が65歳を迎える頃には大変な高齢社会といえますか、しかしながら、今65歳といひましても非

常にお元気ですので、まだ仕事をされている方もたくさんいますし、スポーツをされたりとか、社会活動、奉仕、ボランティア活動をしていただいているわけでございますから、私どもも退職された高齢者の方もしっかりと旭川の地域の大変重要な役割を担っている方々の一人として、行政の中にもそういう形で一緒にまちづくりをやっていくという取組をしていかなければならないと思っておりますし、今後ともその比重はますます増えていくのではないかなというように思っておりますので、ぜひ今日はみなさま方との対話を楽しみにしておりました。

また、高齢者の方への福祉事業等多々いろいろな懸案事項がございます。また取り巻く環境、国全体の中でも例えば医療費の問題ですとか、来年4月からは後期高齢者医療制度という新しい75歳以上の方が加入する新しい制度が導入されたりとか、まだまだ地域の方にもPRしていかなければならない部分もありますし、介護の部分もそうですけれどもいろいろな課題があるのかなと思っております。国全体で考えなければいけないこともありますし、私どもも必要なことは国や道に要望していく立場にもあります。また、旭川は寒冷地でありますので、寒冷地独特のいろいろな課題、除雪もそうですし、石油、灯油が高くなっておりますけれど、こういった暖房費の問題ですとかこういった問題も地域の課題としてはございます。お年寄りの方ですとか身体の不自由な方ですとか、特に一人暮らしの方々には非常に今厳しいご時世になっているのかなという思いもございます。市でもできる限りいろいろな取組みをさせていただきたいと思っておりますが、私から言うのも変な話ですけど、今は非常に財政が厳しい状況であるということで様々な方々からの要望に100%応えることができないという本当に困った状況といえますか、私どもももっともつとつという思いは持っているのですが、今、そのような状況であるということも一つの事実としてはございます。市の財政も一日も早く良くなるよう、財政の健全化に向けて取り組んでいって、その中でもっともつとつ多くの市民の方に税金なり国からきた交付税なり、こういったものをもつと身近な生活の部分で還元させていただくことができるようにということで、鋭意取り組ませていただいておりますのでご理解をいただければ幸いです。

冒頭に当たりまして一言ではございますけれどもごあいさつに代えさせていただきたいと思っております。今日は2時半位までの時間ではございますがどうかよろしく願いいたします。

柿島会長

私は旭川市老人クラブ連合会の会長の柿島でございます。

ただ今、いろいろ丁寧なごあいさつをいただきまして本当にありがとうございます。

また、年末も近づいてきまして、市長をはじめ行政のみなさん方もたくさんお見えになっ
ていらっしゃるに、みなさん方には本当に何だかんだと御用繁多だろうと思っておりますが今日こうして対話集会を開催していただきまして本当に有難く感謝を申し上げるものでございます。

こういった会合につきましては、私の知るところでは記憶に無いわけで、私も何だかんだと10年位老人クラブの関係をやってきておりますが、その間、このような会合は無いのではないかなと思っております。今日はそういうことで、大変私たちが市長と親しく膝を付け合せてお話をできたということ、なかなかそういう機会もないまま今日まで至りましたが、今日はこうして現実に向かい合ってお話できる機会を得たということにつきまして心からお礼を申し上げたいと思っております。これを機として旭川市のことにつきましても関心を高めていきたいと思っております。

さて、私たち旭老連は昭和39年に結成いたしまして、それ以来40年有余長い期間でございますが、多くの遍歴を得ながら頑張ってまいりまして、現在、153のクラブと12,300人近くの会員を擁しております。結構大きな会でございますが、私たちお互いに頑張る旭川市を豊かにするため、老人クラブの目的というものがございまして、昭和38年、老人福祉法が制定され、私たち老人クラブの法的な位置付けというのがきちっと定まりまして、そしてまた老人の福祉の増進活動をする者については補助金をあげますよというふうに法制化されまして、それまでは日本全国の老人クラブは1万に満たなかったのですが、

それができて38年から40年の間に日本一の大組織の老人クラブが誕生して、その当方で56万のクラブが誕生し、その頃から大々的に活動が開始されました。

日本は世界一の健康長寿国になりまして、これなどは正に老人福祉法ができたことによるものではないかということでございまして、世界から大いに注目されております。また私どももこのことにつきましては誇りに感じ、少しでも長く人生の喜びを感じていただく、長生きしていただきたいというのが私たちの老人クラブの最終的、本来的な目標でございまして、市との活動ともぴたりと合致いたしますので、私自身も誇りを感じているところでございます。

私たちの活動の柱といたしましては、やはり健康を保持し健康を維持するということと、友愛を深めていく、高齢者同士がお互いに励まし合ってより良い人生を過ごしていこうというふうに友愛を深めていく、3つ目は生き甲斐の中から地域社会に貢献、奉仕をしていこうと、この3つの大きな目標を掲げて、9年も10年もその目標を柱にしてやってきているということでございます。

私ども旭川におきましてもそれなりに地域社会に貢献するために「スーパーエイジ防火クラブ」というのですが、「スーパー」要するにより優れていると、そして「エイジ」年上ですね。より優れた年上の防火クラブというものを旭川市の消防本部のご指導を頂戴しながら防火について注意をしていると、それから交通安全につきましても年に一回の大会に参加して意識高揚を高めている。それからこの旭川を緑にしていきたいという会がございまして。「緑の会」といいますが、老人クラブの方々がたくさんそこに参加いたしましてボランティアで草取りや花を植えたりなどの活動しております。また、各地域におきましては地域の担い手として、そしてまた主役としていろいろな提案をしながらみなさんと世代間交流を深めながらやっているということでございまして、これからもそういう活動を進めていきたいと思っております。

それとこれからやりたいということがございます。それで、今ねじれ現象といいますか全体的に高齢化してきておりまして、要するに先ほど市長が言われた75歳以上の人達が多くなってきて、閉じこもりなどによる寝たきりや認知症などの症状が出てきております。だから私たちはこれからはそういうことにならない、介護にかからないようにするための予防をどうやっていくかについて、皆で相談してそれなりの対応をしていかなければならないと考えており、講習会などいろいろやりまして、できましたら私たちの153の老人クラブがございまして、その老人クラブの中に健康長寿のリーダーといいますか、指導者を一人ずつ各クラブに配置して、そういう人を中心にして長寿社会を作っていくというふうなことも考えております。そのリーダーは専門家の講習を受けたりするといいなと考えております。

行政でも公民館を中心にして百寿大学をやって下さっておりますので、そこでも私たちはいろいろとご指導をいただきながら生涯学習関係を深めていきたいと思っております。

また、平成21年に高齢者の「ねんりんピック」が開催されるということでございまして、日本全国から約50万人の人たちを対象とした、高齢者を中心としたオリンピックが北海道で開催されます。旭川でもソフトバレーボールとウォークラリーの競技が開催されるようございまして、本当にたくさんの高齢者の人たちが来ますので、旭川に来たら、楽しく明るく過ごしていただくように私たちもより交流を深めてやってまいりたいと思っております。

何はともあれ私たちは旭川の本当に生き生きとした社会づくりのために一生懸命頑張っけてまいりたいと思っておりますので、行政のご指導をこれからよろしく頂戴してまいりたい。私たちと行政はパートナーであり、一体となって考えていきたいと思っております。これから3、4人の方から意見等を申し上げたいと存じますので、市長にはよろしくご理解を頂戴いたしまして、その中でまたご協力を賜りますようお願い申し上げます。極めて雑ぱくではございますが最初のごあいさつに代えさせていただきます。

相澤

私は東光地区の東光長寿老人クラブの会長をしております相澤と申します。

今日は旭老連の活動の内容についてのPRということで発言するわけでございますが、

「旭川市スーパーエイジ防火クラブ」の協力活動、それと旭老連自体の活動と大きく分けて二つございます。

まず、「スーパーエイジ防火クラブ」につきましては、毎年1月6日の消防出初式への参加、それと4月と10月には市内の大型スーパーで広報活動を実施しております。7月には防火クラブのゲートボール大会、9月に行われる旭川市消防防火パレードにも参加しております。また昨年から消防関係の避難所体験、防災フェアの参加、防火・防災講話、これは神楽の福祉センターや高齢者いこいの家で行っております。

旭老連の活動について申し上げますと、健康・友愛・奉仕この3大運動をテーマにしていろいろな活動をしております。まず最初に旭川市と旭老連の主催による旭川市長寿大運動会。これは毎年大雪アリーナを会場にいたしまして実行しております。かなりのクラブの人が参加しております。それから次はペタンク大会。ペタンク大会といってもどんな事やるのかお分かりでないと思いますけれども、金属製の玉を転がして玉をぶつけていろいろ距離を測ったりなんかするそういう競技でございます。これは常磐公園の市民グラウンドを使ってやっております。それからパークゴルフ大会。これも9月にパークランド嵐山で昨年からやっております。その次、これは7月にやっております旭川市交通安全市民大会の参加協力。これも私も20年位前から参加しておりますけれども最近はどういうわけか高齢者を対象にして、この交通安全大会が開催されているわけでございます。確かに高齢者は交通事故の被害者であると、これは間違いないことでございますが、私どもが考えるには被害者ばかりでなく、たまには加害者となる若い人たちにもこの交通安全の大会への参加をお願いしたいと思っております。それから毎年やっております旭川市と旭老連主催の高齢者文化祭でございます。これは旭川市民文化会館を会場にいたしましていろいろな行事、作品の展示であるとかあるいは芸能発表であるとか、それから長い間務められた方に表彰状の授与であるとか、そういうこともやっております。それから9月20日には社会奉仕の日として、全国的に活動しているわけでございます。これは敬老の日というものを設けていただいたそのお礼といたしまして、全国的に9月20日を社会奉仕の日と決め、清掃しております。また、その他に随時、各地区において道路の清掃あるいは小公園の草刈り清掃等もやっております。その次に独居老人の安否確認。これは我々の仲間として随時訪問をして見守っているようなことでございます。それと各地域の高齢者いこいの家のことでございますが、ここではいろいろ生涯学習だとかあるいはそれぞれサークル活動を行い、認知症にならないように手先と頭の運動を兼ねてやっております。

最後でございますが、会員の高齢化に伴って、最近めっきり会員数の減少が目立っております。何せ若い方がクラブに入っていない。先程もちょっと話が出ましたけれどもいわゆる団塊の世代の方、これはみなさん年齢がまだ若いので65かそこらですとまだまだ働けるということでございますので、この方達を老人クラブの会員にするということは当てにならないような問題だと思っております。

以上、雑ぱくではございますが、このような老人クラブ連合会の活動をこの中から幾つか選んでいただいて、できれば広報誌や道新に掲載してPRしていただければ何より幸いと存じます。

市長

ただ今、いろいろと老人クラブのみなさんの活動のご紹介をしていただきましてありがとうございます。私どもも本当に日頃からみなさま方にお世話になっているという部分で感謝いたしております。運動して身体を動かすということが特にお年寄りになってくると大変重要になってくると思いますので、私どももいろいろな部分でこれからもなるべく外に出ていただくような機会を増やしていただくことができるような取組を進めていかなければならないのかなというような思いでおります。

今、広報という部分でお話しがございましたけれども、例えば高齢者福祉という部分で広報誌で特集を組ませていただく中で、老人クラブのみなさんがこういうような活動をしてますというような形でのご紹介というのはできるのではないかなというような思いでおります。今いろいろな行事のご紹介をしていただきましたけれども、この辺どういう組み立てを

していったらいいのかということも含めて、福祉の特集のような形の中で市民のみならず方にもぜひ知っていただく機会を増やしていければなと思っております。

須藤

旭川市老人クラブ連合会監事の須藤でございます。

市長にはお忙しい中、私ども老人クラブとのまちづくり対話集会に本日まで出席くださりまして本当にありがとうございます。

毎日の新聞、テレビ等で家庭にまつわる事故、事件、犯罪等が報道されておりますが非常に悲しいことでございます。近い昔には祖父母あるいは父母が中心となり、一家団らの家庭があり、隣近所のお付き合いには町内会を通じ、助け合いがあり親しい交流の楽しさがございました。市広報紙の12月号の市長随想の中で、「町内会の加入率が75%から65%に下がった。そのため隣近所の繋がりが薄くなったのではないかと心配されております。私たちの老人クラブも例外ではなく、高齢者が段々増えております。その反面、老人クラブの会員が減少しております。平成10年頃を境にしまして全国的に減少しております。私どもも大変その点を案じておまして、現会員の維持、新規加入に努力いたしておりますが、その効果はあまり上がっておりません。そこで老人クラブ創設の目的、趣旨を再確認いたしまして、また昭和38年制定、施行の老人福祉法並びにその実施要領、指針等に基づき地域に密着した老人クラブ活動は地域の高齢者と共に一体となり町内会活動と両輪として親睦と交流を深めています。そして地域に根ざした活動こそが我々老人クラブあるいは町内会の発展の主要にあると私どもは考えております。特に私ども高齢者は敗戦後のあの苦難の壁を乗り越え、不屈の根性を持ち長い生涯をかけまして身に付けた知識や理論、これを捨てることなく地域市民の幸せと発展に有効活用すべきと考えております。老人福祉法に示されている自治体は老人クラブの運営と事業の推進、また地域の高齢者が自由気楽に出入りし、親睦と交流を深め老後の安心、そして安全な楽しい社会生活のための知識の学習あるいは講習会の開催、さらに健康長寿のための趣味を生かした芸能、サークル、スポーツ等の健康増進活動と町内会活動の集いの場として利用されております高齢者いこいの家の維持、運営の助成について、自治体の財政が非常に厳しいことは分かっておりますが、老人福祉の対策として現行を維持し、継続していただくことを切にお願いを申し上げます、私の発言を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

市長

いこいの家を地域の方、お年寄りの方のサークルなど様々な部分で大変役立てていただいているのかなと思っております。ご存知のように、今、老人クラブやいこいの家のいろいろな部分で例えば会員さんの数ですとか利用頻度なんかに応じて、一部ですけれども助成をさせていただいておりますし、この助成という部分についてはこれからも私どもも必要だなという認識は持っております。

将来的には市の財政との兼ね合いもあるので、額についてももしかしたらご相談させていただくことがあるかもしれませんが、大変重要なものだという事は認識いたしておりますので、本当にみなさん綺麗に使っていただいて、手弁当でちょっとした壊れた所を修繕していただいたり、掃除していただいているのを私も市内のいこいの家をいくつも回らせていただいて、よくお聞きしておりますので感謝を申し上げたいと思います。

鎌倉

東旭川老人クラブの鎌倉でございます。

私の発言は、旭老連事務所の確保ということでございます。

私はいろいろな関係で各課にお伺いします。介護高齢課だけでなく、事務室は書類と机とで本当に歩く所も無いというような状況だと思います。庁舎全体がそのような状態に見えますが、その中で私たち老人クラブは、153団体、約1万3千人という団体の役員方、各クラブの会長方が介護高齢課に対していろいろな補助申請だとか打合せだとかがある

のです。係の方の横にパイプ椅子を持っていってお話しするような狭い環境です。今後、いろいろと組織の改革などをやられるということを知っています。職員も減らすという話しも聞いています。できればそんなに広い何人も座れるような場所が欲しいと言っているわけではないので、介護高齢課には老人クラブ連合会の事務局長、事務局次長、担当者がいらっしゃるのですが、その人方と話しをする場所を確保していただければと、現状を見てなかなかそれだけの場所を確保するというのは非常に難しいとは思いますが、できればお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

市長

来年の春に旭川の市役所の機構改革を行いますということで、私どもの提案を昨日、議会で可決していただきました。その中で保健福祉部については、若干業務の入れ替わりがあったりですか、子育て支援部という部を新設し、子どもに関する業務をそこに集約したりですか、そのようなことをやらせていただいたりしますが、そこでちょうど、今回の機構改革にあわせて、来年の5月に介護高齢課が本庁舎の方に移っていただくという準備をしております。本庁舎の窓口というか市民の方の出入りが多いような所ということで介護高齢課を本庁舎の2階あたりと考えておりますが、一部1階になる部分も出てくるかもしれませんが、そこでスペースについて今までより若干余裕が出てくるのかなとは思っているのですが、今後また担当とスペースの部分でいろいろレイアウトもあると思いますので、今いただいたお話しも含めてぜひ検討させていただきたいと思っております。

砂金

永山老人クラブの会長をやっております砂金と申します。

歩道と車道の段差を少なくしてほしいということをお願いを申し上げたいんですが、車椅子が昇り降りするのにあまり段差があると年寄りになるとつま先が上がらないんです。また、電気四輪車も段差があると上がりづらいということとなるべく段差を少なくしてほしいなどこれを一つお願いいたします。

8月の末頃ですが、うちのクラブの人間が段差に足を引っ掛けて手を折ったり、また昨年末頃に自転車段差を乗り越えられなくてひっくり返って、日赤に入院し、夜中に亡くなったということもありますので、よろしくお願いしたいと思っております。

市長

今おっしゃられたとおりの問題で市内にも多々そういう箇所があるということでもあります。最初の時点でちょうどいい高さで設計して作っていたものが年月が経って、旭川は寒いものですから、アスファルトが上がったり、地盤が下がったりということで2センチ、3センチになっている箇所もあるということです。そういった部分については私どもも順次気が付いた部分は改修してまいります。まだ私どもが気付いていない箇所もあるかもしれませんが、事故が起きてしまったら大変な事ですので私どももしっかりと取り組んでいきたいと思っております。これについてはみなさんにもご協力いただきたいのですが「この箇所」ということで情報をいただければ、私どももその現場に土木の職員が出向き、なるべく早く改修、補修できるように取り組んでいきたいと思っております。

大矢

私は文化教養部に所属しております大矢と申します。

私の方からは嵐山のパークランドのプレー代を安くしていただけないかということなのですが、私も健康のために少しパークゴルフをしております。近郊町村のパークゴルフ場に比べて嵐山のプレー代は高いと思います。そして近郊町村では町民は割引するということをしております。それで嵐山も高齢者や市民などを割引あるいは助成するといいますか何かそういう方法ができないものでしょうか。

市長

料金の部分につきましては本当にお気持ちは十分理解できます。

嵐山のパークゴルフ場は、72ホールありまして市内では一番大きいパークゴルフ場になっております。利用料金をいただいているということもあり、良い状態で芝を管理、維持させていただいているのかなと思います。少しコースが狭いというようなお話しもお聞きすることがありますけれど、そんな中で多くの方にご利用いただいているのかなと思っております。

今年もそうですけれど、老人クラブのみなさんで大会をされる時やいろいろな団体でイベントをされるという時には、少し利用料金を減額させていただいたりですとかしておりますが、なかなか個人の方々が見えられた時にそれぞれのみなさんに利用料を軽減することとは今は厳しい現状でございます。実際、維持管理にかかっている費用に対して、利用者の方に負担していただいている利用料では、その半分にもなっていないんですよ。残りは今私どもが管理委託している民間の業者に、市から委託料という形でお支払いしています。実際、料金として回収できているのは維持管理費の半分位ということで、残り半分については私どもも市からの持ち出しという形で今やっておりますので、何とかその部分も考慮していただいてご理解いただければなと思います。

それと嵐山以外にも河川敷にもパークゴルフ場が多々ございますが、こちらの芝の状態が悪いというお話しもよくお聞きしております。その中で末広パークゴルフ場というのが秋月橋の下にありますね。そこは「ななかまどパークゴルフクラブ」がよく使われているのですが、そのみなさんに、一部ですけれど委託管理をお願いしていて、芝をいろいろ手入れしてもらったりですとか簡単な肥料を撒いていただいたりですとかしていただいているんですね。あそこはボーリングしてまして、下から水が出るように設備を作っておりますので水を芝に撒けるんです。それがあるので芝が結構良い状態になっておまして、来年度から少し、いきなりお金をみなさんから頂くのはちょっと難しいと思うんですけれど、協力金みたいな形で頂いて、芝の管理だとか設備に使わせていただければなという思いもあつたりですとか、他の部分も順次、まずはボーリングをして、やはり天然の雨だけではどうしても芝が枯れてしまうという状況になりますので、一回ボーリングすると3百万位お金がかかりますので、これも順次になっていくのですが、そういったことも今後取り組んでいかなければいけないなという思いでございます。そういうことも考えるとなかなか嵐山の方だけにたくさんかけるというのなかなか厳しいような現状になっているものですから、申し訳ないんですけれどもご理解いただければと思います。

大矢

嵐山は確かに設備もよろしいですし大変良いのですが、やはり料金が低いと他の町村へ利用者が流れていったりすると思います。料金を下げたら利用者も多くなると思いますので、金額を下げたからといってそんなにマイナスにならないのではないのでしょうか。今、道市民税が高くなり、また原油高でガソリンや灯油も値上がりしています。我々年金者にとっては段々生活が厳しくなってきますので、嵐山もプレー代を少し安くするような方法を考えていただければと思います。

そしてパークゴルフは、やはり健康と生き甲斐の大事なものになっておりますので、これからの予算とか事業計画にも検討していただければと思います。

柿島会長

かなり問題は難しいかもしれませんが、老人クラブ連合会で「ここへ行って身体を鍛えてください」とか「そこへ行って遊んでください」とか、そういう場が無いわけで、ぜひとも幾らかでも安くしていただくと、そこに魅力を感じて行くようになりますし、閉じこもりなども無くするために、そういうことをぜひとも考えていただきたくお願いいたします。

市長

わかりました。パークゴルフ場に関しては、今春光台にも新しいパークゴルフ場を作つてまして、来年オープンだと思っております。それと今東光の方にも来年から新しいパークゴルフ

場を作る予定で、ここは36ホール、当面27になると思いますけれど36ホール位のものにしようと思っております。料金設定等はまだ決まっておりませんが、いろいろ市でもそういった部分でいろいろな所にまたパークゴルフ場を拡張していきたいと思っておりますので、場合によっては券の種類を年間パスポートだとかいろいろな形もあるのかもしれないので、その辺も知恵を絞ってみたいと思っております。

相澤

毎年6月に全道の老人クラブの会長などが集まり定山溪で研修会をやっております。この時に私は「スーパーエイジ防火クラブ」のことを発言したのですが、全道でこのような老人クラブと消防と一緒に活動をしているという所は全然無いそうなんです。それで私がいろいろお話ししたところかなり反響がありました。これは旭川市のPRにもなるし、旭川が全道に誇れるものではないかなと思えます。

企画財政部主幹

「スーパーエイジ防火クラブ」は、以前は「シルバーエイジ防火クラブ」という名称を使わせていただいております。その時は実は全国初のクラブでした。ですから全国的に旭川市がみなさんの活動を誇れる事業であるということで間違いのないと思えます。

市長

私もすごく良い制度だなと思っておりますので、これからもそういった活動をぜひ続けていただけるように私どもも側面的ですけれど応援させていただきたいと思っております。

柿島会長

残念なことに10年前と比べて今の旭川の人口が7千4百人減っています。逆に65歳以上の高齢者は10年前と比べると、驚いたことに2万5千人も増えているんです。旭川はそれくらい超高齢社会になっているということを市長には片隅に置いていただいて、私たち高齢者に対する福祉増進に繋げていただければと思います。これはこういう数字が出て私自身も驚きましたのでお話しさせていただきました。

市長

本当にこれから65歳以上の方がもっとも旭川でも増えていくという予想になっておりますし、私はあまり好きな言葉ではないのですが「限界集落」という言葉がある学者さんが使って、65歳以上の方が半分以上いるまちでしたか、結構日本にもあるようなんですけども、そういうまちが今後もっとも増えていくということで、このまま放っておきましたら、今、人が住んでるまちが北海道で180市町村ありますが、数十年後には半分位のまちが無くなってしまふ、小さな町や村が全部無くなってしまふ時代が来るのではないかなということでした。せっかく田を作って畑を耕して、下水道工事をしてまちができて、学校、病院ができたのに、それがもし何十年後にそうになってしまうというのは非常に国全体としての大変な損失だなと思っておりますので、もっと田舎の所でも人がちゃんと住んでいけることができるような均衡ある国土の発展といいますか、そういった事をやっていった方がよいのではないかなと個人的には思っています。旭川に関しても高齢者の方は増えてきますが、私どもとしては何とか若い人にもせっかく旭川の学校出た方が、できれば旭川の外に出て行かないで、このまちで仕事を持ってもらえるような雇用対策とか経済対策についても、ぜひ両輪で進めて行きたいと思っております。先日、23年後の2030年に旭川の人口が27万人になる、北海道の人口は今から100万人位減るという予想をした方がいたのですが、その話を聞いて私はショックを受けました。何とかその数字に近づかないように頑張っていきたいと思っております。

須藤

昨年、全道の老人クラブの大会が帯広でありました。その中で浦幌の町長さんが、「私

の町でゲートボールなりパークゴルフを始めたら町の医療費が半分になった」と言うのです。結局、病院通いするよりもパークやゲートボールやった方が良くって、皆がそれをやることによって健康になったということです。ですから先程のパークゴルフ場の利用料金のことがありましたし、とにかく認知症の防止には外へ出ることです。そういうパークゴルフなど、外に出ることによって認知症も遅くなったり、少なくなったりするというような傾向があると思います。

もう一つ、私は東警察署の高齢者の交通安全の役員をしておりますが、先々代の東警察署の署長が交通安全の集会の中で、老人クラブに入って欲しいと呼びかける演説をしているんですよ。老人クラブに入っている人は交通事故を起こす率が非常に少ないので、ぜひみなさん老人クラブに入ってほしいとPRしているんですよ。ですからそういう面を考えてみれば、私どもも老人クラブの会員を増やすように努力しておりますが、市の方でもその後ろ盾なり後押しを、何かPRとかその他の面でしていただければ幸いですのでよろしくお願いいたします。

市長

先程の部分と重複してしまうかもしれませんが、ぜひそのようなことが大事だと思っています。私も機会あるごとにその話は個人的にいろいろまたしていきます。

柿島会長

消防の主催でゲートボール大会があったのですが、永山の方から96歳の方が参加して来てまして、話はしっかりしていますし、歩き方もしゃんしゃんと歩きます。普段から活動的に生活をしている人たちはあまり歳を取らないんです。今0.7掛けですから80歳の方は7×8で56歳の元気を持っているのです。ですから若いと自分で思いながら活動していると足腰を丈夫にしたり、認知症にならなかつたりします。市の広報誌にそういう記事を掲載するスペースを少し私たちに下さるといいなと思いますので、よろしくお願いいたします。

伊藤

私は仲よし長寿会の伊藤と申します。

東旭川町倉沼の共同墓地にお墓を建てたのですが、水も出ないし、ごみは散乱しているという状況です。毎年8月7日は草刈りしたりお墓の手入れをし、親の命日には必ず行って、また兄弟の命日にも行ってお墓洗ったりしています。みなさんが奉った物は持ち帰らずに捨てるので大変汚れています。水が出ないので、焼酎の4リットルの空きボトルを2本持って行って洗っていますが、水が出る設備と「奉った物はお持ち帰り下さい」、「ごみは必ずお持ち帰り下さい」という立て看板を立てていただきたいと思います。

また、春先お彼岸に行こうと思っても、除雪状況が悪く、お参りに行きたくても行けないのです。お参りに行けるように除雪していただけたらと思います。

市長

倉沼の方の墓地の場所が分からないので今度調べて、必要な対応取らせていただきます。

伊藤

これからテレビがデジタル放送になりますよね。高齢者いこいの家のテレビがデジタル放送が受診できるようにお願いしたいと思います。年寄りが費用を出すわけにはいかないのです。

市長

4年後の2011年ですね。いろいろな部分で問題が出てくるんですね。私どももどういう方法が取れるのか。デジタル放送になると山の裏の人が見れなくなってしまうという電波

の問題もあるんですよ。それでアンテナなども調節しないといけないなど、今それをや
ってる最中なのですが、いろいろとまたその辺も考えていかないといけないですね。

西山

親和老人クラブの西山です。

我々が旭川に住んでいて良かったと思える市にしてほしい。細かいことですが、
例えば今までは敬老祝金として77歳になると1万円が市から出ていたけれど、これは無
くなります。確かに国、道、市の財政は厳しいでしょうけれど、老人が希望を持てる市に
なるよう頑張ってください。

市長

何とかそういうふうにもってもらえるようなまちというのは非常に大事だと思っ
てるので、またいろいろご相談させてください。

富居

富沢老人クラブの富居と申します。

神楽福祉センターが来年度中に移転新築されるという話を聞きまして大変嬉しく思っ
ているのですが、いろいろと説明を聞きますと、移転新築後は飲酒ができない、またバス
による無料送迎も無くなるという話を聞き、がっかりしています。今まで利用していたクラ
ブのみなさん方は、自腹でお金を出してバスに乗って行かないとならないということになり
ます。近場の温泉を利用すると無料の送迎があり、また飲酒の制限もありません。新しく
建てていただけるのは本当に嬉しい、有難いなと思っているのですが、利用者のみなさん
にがっかりさせないような、今まで通りの方法を何とか考えていただけないものかなと思
います。

市長

新しい福祉センターの移転の件ですが、今ある場所に橋ができて道路になって、開発が
横に移るとの関係で移転するということになっているのですが、既にご存知だと思いま
すが、保育所と福祉センターとが一緒になった建物を作る予定をしております。

お酒の好きな方は皆でそこへ行っていろいろな夏の季節などにそういう楽しみを持っ
てらっしゃるんだろうと思います。私どもも自分の町内でも日帰りでも夏、温泉に行ったりし
ているのですが、子どもさんが一緒という部分ではどうしてもそれが厳しいなというよ
うな、別々の建物であればそういうこともできるかもしれないんですけど、一緒の形でとい
うことで、今もう実施設計が終わった段階に来ておりますので、その部分何とかご理解
いただけないかなというのが一つございます。

また、バスの送迎についても、だいぶ古いバスを今運行させていただいているので
すが、新規車両を購入して、運転手をつけて送迎するという部分では、これも本当に申し訳
ないのですが、市の財政の問題もございまして、今までのことがなかなかできないのかな
ということ、今ご相談をさせていただいている最中でございますけれど、この部分につい
てもいろいろな方法があるかもしれませんが、民間のバスをお借りする際に市として何
か助成させていただくとか補助するとかという方法があるのかもしれませんが、またご
相談させていただきたいと思っておりますので、このあたりは介護高齢の方でまたいろいろご相
談に乗ってください。

富居

部屋について、幼稚園児と一緒にということについては大変良いことなのですが、食事の
時はアコーディオンカーテンなどで仕切って、老人クラブの方だけで食事できるようにする
ということも考えられるのではないだろうかと思っております。老人クラブのみなさんが喜んで
利用できるような工夫をよろしくお願ひしたいと思います。

市長終わりのあいさつ

あっという間に1時間半が経過してしまいましたが、いろいろとみなさま方からご意見をいただき、ありがとうございます。ご要望という部分もあったかもしれませんが、できるところについてはぜひ頑張っていきたいと思ひますし、またご相談させていただきたい部分、ご理解いただきたい部分もあるかと思ひますが、よろしくお願ひできればと思ひております。

また、今後いろいろな場面でお会いさせていただくこともあると思ひますし、また、今年も残すところ後2週間ですが、みなさま、風邪が流行っているようですので、ぜひご体調を崩されませんようにお気を付けになって、良い新年を迎えていただければと思ひます。

また、これからもいろいろな部分でお力添えいただくとお思ひますがよろしくお願ひ申し上げて一言お礼に代えさせていただきたいと思ひます。

今日は本当にどうもありがとうございました。